



アクティブ・ラボ
Active Lab.

はてなを
はなす場所

アクティブ・ラボ ってどんなところ？



アクティブ・ラボ は、**学習**や**学校生活に関する相談**に対応するスペースです。

大学生活の中での生活や授業の学習で疑問がわいてきたときにはぜひアクティブ・ラボに来てください。

初年次ゼミを担当する教員と3年生以上のピア・サポーターが相談に応じます。

ピア・サポーターの導入

ピア・サポーターとは、学生の皆さんと同じ立場でありつつも、高学年という少し経験を有する立場から、学習に困った人に対してサポートを行う存在です。

アクティブ・ラボをより身近に感じ、気軽に来てもらえるように2023年度からピア・サポーターが加わり、学生の立場から全力でサポートします。2023年度現在、経済学部4名(3年生3名、4年生1名)、地域政策学部4名(3年生4名)の学生が在籍しています。

学習の悩みだけでなく、学校生活や就職活動の悩みなどにぜひご活用ください。

在室時間例 (2023年度後期)

火曜 4限	助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部・地域政策学部)	水曜 4限	助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部・地域政策学部)
木曜 3限	助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部)	金曜 3限	助教1名、ピア・サポーター2名 (地域政策学部)

※在室時間、担当サポーターは学期ごとに変わります。

アクティブ・ラボ
Active Lab.
はてなを はなす場所

場 所：研究棟1階
E-mail：aclub-jyokyo@tcue.ac.jp
相談・予約フォームURL：
<https://forms.office.com/r/q6rGA5gq24>



↑ 質問・予約

アクティブ・ラボ これまでの活動

学習・生活相談

● 学習

課題の提出方法や講義の受け方で、分からないことがある学生の学習をサポートします。

レポートや課題の内容に関しては、助教の先生にスムーズに取次ぎ、学生本人の力で課題を克服する手助けをしてきました。

● 生活

学習相談以外にも、普通の生活に関する相談も常時受け付けています。

学生生活のちょっとした悩みにも耳を傾けて、解決に尽力してきました。



ゼミ・履修相談

● ゼミ

講義に関すること以外では、ゼミナール選択についての相談も受け付けています。

両学部2年次後期から始まるゼミに向けて様々な相談に乗っています。

● 履修

2023年度後期から履修登録の時期に合わせて、全学年を対象とした履修相談会を実施しました。

直前の告知となってしまったにもかかわらず、予想よりも多くの学生に相談に来ていただきました。



ピア・サポーター制度

● 学生サポーターによる対応

学習面では助教の先生が中心にアドバイスをしますが、生活面などでは学生のピア・サポーターにも相談することができるようになりました。

大人や先生には相談しにくいサークル活動やアルバイトの悩みでも、気軽に来てください。

アクティブ・ラボ
Active Lab.
はてなをはなす 場所

場 所：研究棟1階
E-mail：aclb-jyokyo@tcue.ac.jp
相談・予約フォームURL：
<https://forms.office.com/r/q6rGA5gq24>



↑ 質問・予約

INTERVIEW

01

～利用者・学生サポーター～



アクティブ・ラボを利用してみて



地域政策学部1年生
チョ・ヨンジュン

Q1. アクティブ・ラボを知ったきっかけは？

新入生向けガイダンスで知りました。他にも、配布された『Approach』を見て、詳しい情報も知ることが出来ました。

Q2. アクティブ・ラボを利用してみてどうでしたか

非常に役に立ちました。

1年生の前期に初めてレポートを書くことになったのですが、書き方がわからず苦労しました。そこで、アクティブ・ラボに足を運び、書く方法を教えていただきました。

Q3. まだ利用したことない人に一言

大学の課題や勉強をする中で、つまづいたときに気軽に来てみてください。



ピア・サポーターからみなさんへ



Q1. アクティブ・ラボってどんなところ

- ・学習中心のお悩みサポーター
- ・近い&遠い将来の相談先
- ・知名度は低いけどいいインフラ
- ・教務課に次ぐ相談場所
- ・困った時に気軽に足を運べる場所
- ・頭と心を整理する場所

Q2. サポーター目線から見るアクティブ・ラボ

- ・誰かに話すことで自分の気持ちを整理できる
- ・専門的な意見を聞きたい場合は先生に、先輩から意見を聞きたい場合はサポーターに、聞くことができる
- ・学生サポーターもいるからこそ、訪問するハードルが低い
- ・わからないことを解決するための第一歩が踏み出しやすい場所

Q3. 学生のみなさんに一言！

- ・誰に聞くか分からないときに使ってみてください
- ・はてなを一緒に解決しましょう！
- ・困ったときは寄るのが吉
- ・機器トラブルにも対応します！
- ・視野を広げて学生生活を充実させましょう！
- ・行くと広がるあなたの視野
- ・何かあったらとりあえず来てみてください！
- ・ぜひお話をしに来てください

現在アクティブ・ラボには、
地域政策学部の学生4名
経済学部の学生4名
計8名の学生サポーターが
在籍しています！

そんなピア・サポーターの皆さんに、

「アクティブ・ラボって
どんなところ？」

とインタビューしてみました！
(2023年度現在)

Q 大学は、学問の場所!



地域政策学部
天野 恵美理

【出身】神奈川県

【研究内容】専門は哲学。特にフランスの哲学者アンリ・ベルクソンの思想研究。最近は当時の心理学等にも関心があります。

Q1. 研究 はどんなところが面白い

いつもではないですが、時として没頭できることです。

Q2. 印象に残っている 大学の授業 は

社会学の授業が印象に残っています。毎週授業が楽しみでした。長期休みの際は、大学が始まるのが待ち遠しいときすらありました。

Q3. 大学生の間に やっておいた方がいい ことは

やはり勉強ではないでしょうか。

Q4. これは早めに 読んでおくべき 本は

戸田山和久『論文の教室 最新版』NHKブックス、2022年

Q5. 大学生の時に ハマっていた ことは

読書やカラオケです。あとは、やはり大学で友達と議論などするのがとても楽しかったです。

Q6. 哲学 とは

それこそが哲学の大問題でもあります。

Q 流れに身を任せて今を楽しもう!

Q1 大学生の間に やっておいた方がいい ことは

上記の質問は、多くの方が1度は考えることではないでしょうか。正直なところ、私は「大学生の間に」とはあまり考えたことはありません。というのも、その時々与えられた環境をどう楽しむかしか考えていなかったからです。なので、いつもなるようになっていました笑。大学生のときは、学部での学びと体育会アーチェリー部での活動をいかに充実したものにするかを考えていました。部活動で試行錯誤したことは、学部での学びや大学院での研究生活に活かされましたし、学部と大学院で学んだ心理学は結果的に仕事に繋がりました。ぜひ皆さんも、今の環境を真剣に楽しんでみてください。私も高崎での生活を楽しんでいます。

Q2 大学生の時に ハマっていた ことは

Q 1上でも答えたとおり、学部での勉強と部活動が生活の中心でした。これら以外では、所属していたアーチェリー部内で同好会を作り、美術館や博物館の展覧会によく足を運んでいました。

あとは、映画も好きだったので、映画館にもよく行ってましたね。高崎には幸い、美術館も映画館もあるのでプライベートは非常に充実しています。最近は芸術劇場にも。



地域政策学部
藤岡 慧

【出身】大阪府枚方市

【研究内容】アンケート調査における社会的望ましさバイアスの統制。どのようなデザインでアンケートを作成し、どのように統計処理をすれば真の回答に近づけるかに関心があります。

Q 充実した時間を!



地域政策学部
原田 玄機

【出身】東京都練馬区

【研究内容】社会政策、社会福祉、歴史社会学。戦後日本の知的障害者の政策・処遇史。高崎では、国立のそみの園(観音山の裏手あたり)などをフィールドとしています。

Q1. 研究の面白さって?

何気なく見ている世界に対して「なぜ」と問いを立てることで、この世界の見え方がガラリと変わる経験ができることです。

Q2. おすすめの本は

戸田山和久『論文の教室』と高根正昭『創造の方法学』です。分野横断的な人こそ、書き方・方法の考え方を学ぶと頭が整理されます。

Q3. 社会政策ってなに

労働と社会保障を中心に、家族政策や教育政策、住宅政策などとかかわりがある分野です。統計データを活用しつつ、それだけではわからないことをインタビューや実地調査、歴史研究などを通して分析します。

ここで問題。大学生の就職率って何%でしょう? わからなかった人は調べてみてください。その数字は想定内でしたか? 意外でしたか? 統計データの重要性と、それだけではわからないことがあることに気づかされるデータです。よければ、あなたの感想を聞かせてください。

Q 一瞬で過ぎる輝く青春を大切に、そして楽しんで!

Q1. 研究をしている理由は

大学院時代は、ただ「なんでこんなこと起きたのか」「これについてもっと知りたい」という気持ちでした。右も左もわからない状態で挫折も多かったですが、そこでやめたら「知りたい」を知ることができなくなると思い、その気持ちに掻き立てられ、研究を続けました。今も研究する過程は決して順風満帆ではないですが、興味関心のあることを調べ、疑問を少しずつ解決していくのが楽しいです。

Q2. 大学時代に やっておいの方がいい ことは?

勉強笑。

すごく固い答えですが、私は今でも学部の時もっと勉強したらいいなと思っています。

ただ、その勉強は、授業や試験のための勉強ではなく、自分のやりたいことに向けて、様々の知識を習得する勉強です。例えば、所属サークルの活動、音楽や映画などの興味について知識を深めることです。思う存分、興味関心に時間を費やしたら、より広い世界が目の前に広がると思います。



地域政策学部
蔡 珂

【出身】中国南京

【研究内容】日中近代教育史、日中比較史、教育思想、近代知識人。中国と日本の近代知識人の教育思想や活動と、地域社会や政策との関係を中心に研究をしています。